

2022年3月期 第1四半期決算短信 補足説明資料

株式会社オプティム

1. 2022年3月期 第1四半期決算レビュー

2. 成長戦略

3. 2022年3月期 通期業績見通し

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

2022年3月期 第1四半期決算レビュー

.....

創業来22期連続となる過去最高売上高に向けて好調に推移

第4次産業革命の中心的な企業になるために
積極的な成長投資を実施いたします

(連結経営成績 単位：百万円)

	2021年3月期 第1四半期 実績	2022年3月期 第1四半期 実績	実績 前年比	2022年3月期 通期予想
売上高	1,377	1,683	122.2%	8,269~9,020
営業利益	△38	240	—	1,121~2,000
経常利益	31	227	722.3%	1,121~2,000
純利益	12	135	1047.7%	695~1,240

■業績の進捗状況および通期見通し

【売上】

- ・「Optimal Biz」を中心としたライセンス売上が、堅調に推移しております。
- ・各産業に特化したサービスの展開を見込んでおります。
特に数年前から取り組んでいる農業 x I T分野における売上が好調に推移しております。
- ・ライセンス・カスタマイズ^(※)売上が、前期に比べて順調に立ち上がりを見せております。
- ・当社の売上構造は、ストック型のライセンス収入で月額課金による売上が中心となっていること及びフロー型のカスタマイズ売上の検収時期が下期に集中する傾向があること、これらにより、売上は、下期偏重となります。

【利益】

- ・Optimal Bizを始め、OPTiM Cloud IoT OSやAI関連サービスのライセンス売上也順調に推移しております。
- ・研究開発計画も期初計画どおり、順調に推移しております。
- ・前期から開始しているソフトウェア資産計上が、利益の増加に寄与しております。

したがいまして、第1四半期の進捗状況としては、売上・利益ともに計画どおりであり、業績予想への影響は一切ございません。

なお、現時点において新型コロナウイルスによる影響は顕在化しておりませんが、業績予測に与える影響が判明した場合には、すみやかに開示を行います。

※ライセンス・カスタマイズ…当社研究開発部分をライセンスとし、それをもとにしたカスタマイズ開発のこと。将来のライセンス発行につながる開発となります。

成長戦略

〇〇×IT構想の更なる推進にむけて

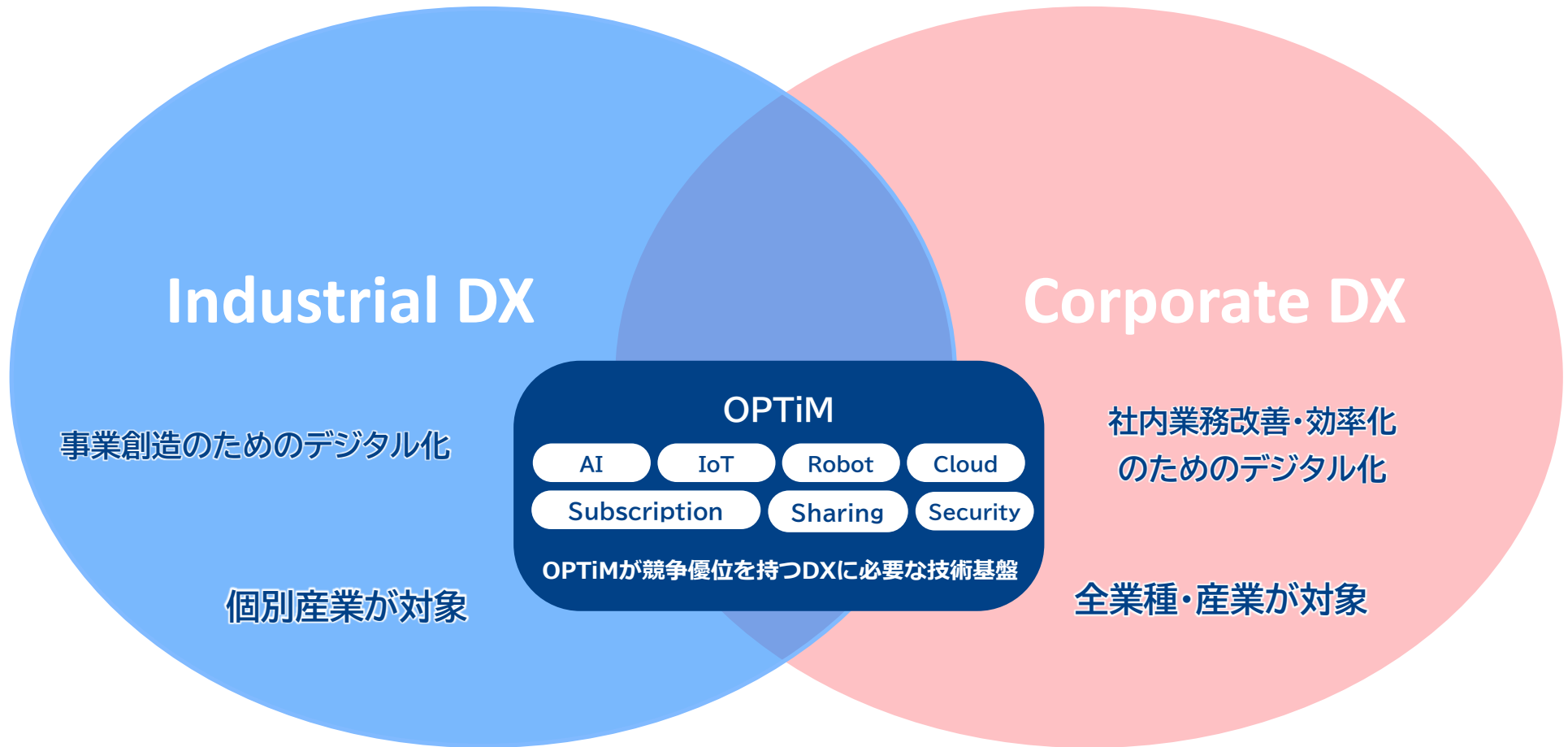
中期経営テーマ

OPTiM®

〇〇 × IT

各産業とIT（AI・IoTなど）を組み合わせる
「〇〇×IT」により
全ての産業を第4次産業革命型産業へと
再発明してまいります

2021年3月期第2四半期決算説明会資料より



コロナ禍により、特性の異なる2つのDXが大きく発展
TAM約160兆円

〇〇×IT戦略の推進により、OPTiMのAI/IoTプラットフォームへの 接続デバイス、産業向けキラーサービスが飛躍的に増加

Industrial DX

産業共通

PC・スマホ・タブレット カメラ



建設

建機・ダンプトラック



KOMATSU
Landlog

医療

手術ロボット



Medicaroid
MINS

農業・IoT

ドローン・センサ等



NTT e-Drone Technology

ロボット

各種検査ロボ

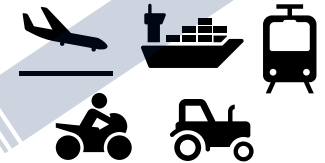


Kawasaki

更なる

〇〇×ITを推進

450億台になるさまざまな
業界・ハードウェアへ展開



OPTiM Cloud IoT OS

ID管理・デバイス管理・遠隔制御・クラウド管理・セキュリティ・エコシステム運用・課金管理

AIサービス

OPTiM
IoT

AI Camera

OPTiM
GeoScan

MINS

農業DX
サービス

ロボットDX
サービス

...
次々に
新サービス投入予定

産業向けサービス

Industrial DX 領域の進捗・新サービス

4月

5月

6月

7月



農業

国産ドローンサービス利用推進：
NTT e-Drone Technology設立



固定翼型ドローンを用いて作物の生育情報を広範囲で取得・栽培指導の実証実験を実施

ハウス栽培スマート化実証実験を開始



医療



「オンライン診療プラットフォーム」バージョンアップ

「ポケットドクター」神戸大学と共同研究開始



建設・土木



「OPTiM Land Scan」
としてβ版無償提供

サービス提供開始

OPTiM Geo Scan
高精度3次元測量

国土交通省 九州地方整備局が
実施「令和3年度防災訓練」
へ提供

5/26メディア・パートナー向け
新サービス発表会にて発表

OPTiM IoT

クラウド機器管理サービス

サービス
提供開始予定(8月)

産業共通



PC・スマホ・タブレット

カメラ

OPTiM AI Camera

混雑状況を可視化して三密を回避

広域モードとAPI
連携の機能追加

OPTiM AIソリューション
5部門で市場シェアNo.1獲得

上野動物園混雑
マップに提供

「ArgosView」
と連携

今後も、更なる〇〇×ITの推進によるデバイスカバレッジ、産業用キラーサービス開発を推進
全世界450億台のデバイスへの接続と産業用キラーサービス提供を目指す

これまでの取り組み

消費者、生産者ファーストのビジネスモデルを確立
単一作物で国内最大市場を持つ“米”で
栽培から加工、販売（EC）までを一気通貫で提供



弊社が生産者提携し栽培、販売を実現する“スマート米”において消費者、生産者ファーストのビジネスモデルを確立

農業とITの未来メディア「SMART AGRI」を運営
弊社が主体で発足させたスマート農業アライアンスに生産者を中心に2,000の団体が参加。協業し農業全体のDX化を進める

農林水産省、各自治体、生産者と先進的共同研究を数多く実施

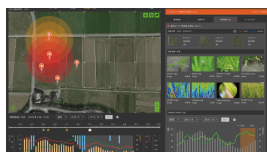
農業・食品産業全体の効率化と付加価値向上を目指した
独創的なDX（AI・IoT）サービスを開発



ドローンを使ったピンポイント農薬散布・施肥テクノロジー（世界初・特許取得）を提供



ドローンを使った播種テクノロジーを提供



圃場をAI・IoTで画像・センサ解析するサービス“Agri Field Manager”を提供



グライダー型ドローンを使った広域圃場管理システムを提供

今後の展開

米産業全体のDX化

”スマート米“栽培・販売を通じてノウハウを確立した“米”において栽培から加工、流通、販売、全体を見据えたDXサービスを提供する



TAM
約
2.3
兆円*

※出典：矢野経済研究所「2020年版 コメビジネス・米飯市場の実態と将来展望」米飯市場の市場規模推移より

農業DXサービスの販売拡大

実用化段階に入った栽培の効率化、付加価値化を行うためのDXサービスを数多くをさまざまなチャネルから提供していく



TAM
約**3,885**
億円*

※『2030年のフード&アグリテック』（NAPA編）の市場規模予測値から「次世代ファーム」「農業ロボット」「生産プラットフォーム」の部分引用して算出

これまでの取り組み

手術支援ロボットシステム「hinotori™サージカルロボットシステム」用ネットワークサポートシステム「MINS※」を共同開発

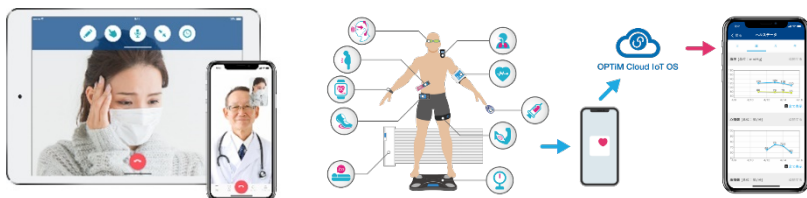


MINS※により実現されること：「hinotori™の稼働状態やエラー情報のリアルタイム収集」「手術室映像のライブ配信及び閲覧」「デジタルツインによる稼働状態の三次元再現」など

※Medicaroid Intelligent Network System

オンライン診療プラットフォーム

- ・2016年2月「オンライン診療ポケットドクター」を発表
- ・2020年2月～9月「ポケットドクター」を医療機関に無償提供し、新型コロナウイルス感染症対策に貢献
- ・2020年4月 オンライン診療プラットフォームのOEM提供を発表



今後の展開

手術室向けDXサービスとして販売拡大

- ・hinotori™出荷拡大※に伴い、MINSを順次導入
※日本での事業基盤確立(24.3月期:100億円)
(シスメックス株式会社 2021年3月期 決算説明会より)
- ・手術室向けDXサービスの共同開発と展開
 - ・hinotori™本体の競争力拡大
 - ・手術室関連の新規ビジネス創出

コロナ渦でニーズが高まる分野へ応用

オンライン診療プラットフォームを関連サービスに広く展開

TAM
約 **1,500**
億円

オンライン診療サービス、オンライン服薬指導、保健指導等企業健保向けオンラインサービスなどの合算値

※1 2024年推定地。調査会社シード・プランニング「オンライン診療サービスの現状と将来の市場に関する調査の結果(2020年7月)」より

※2 全国の総処方箋枚数、約8億枚(厚生労働省「平成30年度 調剤医療費(電算処理分)の動向」より)に服薬指導単価430円を掛け合わせ、さらにそのうち1割がオンライン化すると想定した場合

※3 50人以上の従業員がいる事業所数、約16.4万施設(平成22年労働安全衛生基本調査、平成26年経済センサス(一部推計含む。))に対して、5万円/月/施設で試算

これまでの取り組み

LANDLOG推進 with コマツ

SC Edge(現場)



SC Fleetデバイス
(ダンプカーなど)



- ・コマツ社が主導するLANDLOGを通じてOPTiM Cloud IoT OSを提供
- ・ショベルカー、ダンプカー、ドローン、各種エッジデバイスなどのデバイスを管理・解析
- ・55社がアプリケーションを提供

SCLetrofitキット
(油圧ショベル)

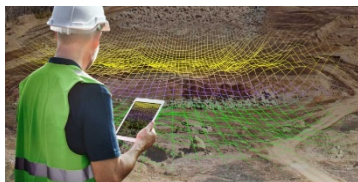


LANDLOG Marketing設立

- ・ランドログの普及支援、および、OPTiMの建築・土木ソリューション展開のため、ランドログマーケティング(LLM)を設立
- ・パートナー網として、販売店：10社、サポート店：2社を確立
- ・コマツ社のレトロフィットサービスを展開



建設・土木向けDXサービス開発



九州最大級ゼネコン松尾建設社とiPhoneを使った3D測量サービス“OPTiM Geo Scan”共同開発・提供開始

今後の展開

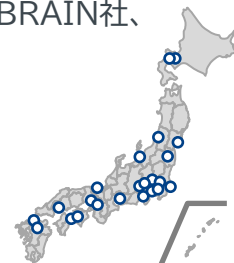
LANDLOG推進 with EARTHRAIN

- ・新たにEARTHRAIN社が事業開始予定(2021年7月)
- ・コマツ社等より4/30にプレスリリース
- ・EARTHRAIN社ともに、引き続きOPTiM Cloud IoT OS提供を通じたLANDLOGの事業・開発推進

LANDLOG Marketing発展

- ・ランドログマーケティングを通じた、EARTHRAIN社、LANDLOGサービスとの事業協業、普及支援
- ・全国の販売チャネル確立
- ・エリアカバレッジ100%※を目指す

※ 販売、および2時間以内の現地サポート体制



建設・土木向けキラーDXサービスの販売拡大

- ・OPTiM Geo Scanを中心とした建築・土木DXサービスの開発と展開
- ・LLMのチャネルを中心に、ターゲットとなる建設関連会社36万社※に提供

※ 土木工事で元請けができる会社建設会社130万社から企業規模などを鑑みて算出

TAM
3,600
億円

新たな産業領域への取り組み

各産業における国産ドローンサービスの利用を推進すべく、 NTT e-Drone Technologyを設立

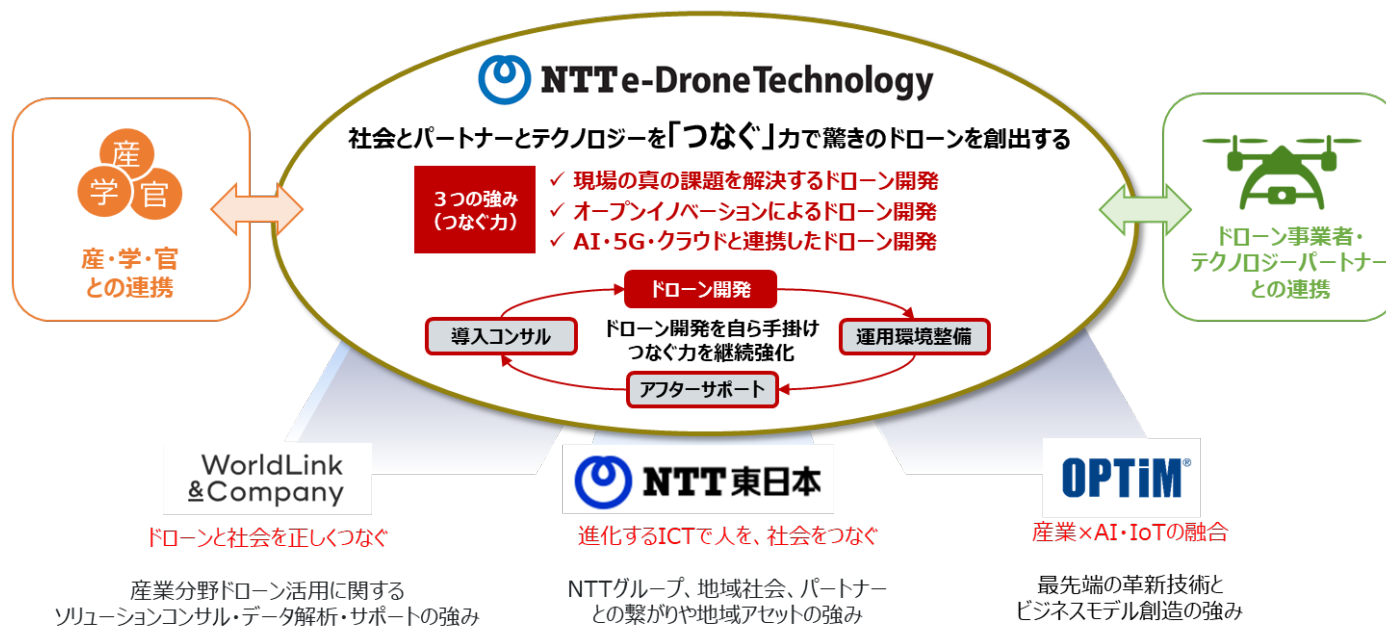
農業向け機体

産業向け機体



- ・農業分野を起点に、点検、測量、公共などへの他分野に展開を行う
- ・国産、軽量、省電力を強みとした、機体開発に加え、オプティムがもつAI、IoTのソフトウェアサービスを融合させた事業展開を図る

国内ドローン市場
TAM
6,400
億円 ※



※出典：インプレス総合研究所「ドローンビジネス調査報告書2020」
国内のドローンビジネス市場規模の予測より

OPTiMのAIソリューションが5部門で市場シェアNo.1獲得 ※1

OPTiM AI Industry



OPTiM AI Camera



OPTiM AI Camera Enterprise



Agri Field Manager



OPTiM Cloud IoT OS

※1 デロイト トーマツ ミック経済研究所「AI（ディープラーニング）活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2020年度版】」

**コロナ禍により、
Corporate DX (オフィス業務のデジタル化) による
リモートワーク、業務効率化、コスト削減
ニーズが急拡大**

Optimal Bizの圧倒的な顧客基盤、パートナー網を活用した 約18万社へのCorporate DX新サービスの展開

これまでの提供価値



+

新たな提供価値

Optimal Remote IoT 簡単・高セキュリティなIoT向け遠隔操作サービス	OPTiM ID+ IDにセキュリティをプラスする、クラウド認証基盤サービス	OPTiM Digital Marketing 顧客との接点強化、アフターケアの自動化まで提供するマーケティングDXサービス	OPTiM Contract AIで契約書の管理コスト・リスクを削減するクラウド契約書管理サービス
---	--	--	---

...
次々に
新サービス
投入予定

Corporate DX プラットフォーム

約18万社の
圧倒的な顧客基盤

...
更なる顧客に拡大

Corporate DX 領域の進捗・新サービス

4月

5月

6月

7月

Optimal Biz
市場シェアNo.1
MDM・PC管理サービス

テクノ・システム・リサーチ
— 調査レポートで19部門中12の
部門でシェアNo.1

Optimal Biz Telework

— バージョンアップを実施 - テレワーク実施率向上を
支援・無償提供再実施

Corporate DXの 新サービス群

OPTiM ID+
IDにセキュリティをプラスする

サービス
提供開始予定(8月)

OPTiM Contract
AIで契約書の管理コスト・リスクを削減

サービス
提供開始

OPTiM Digital Marketing
マーケティングDXサービス

サービス
提供開始

Optimal Remote IoT
簡単・高セキュリティな遠隔操作サービス

サービス
提供開始予定(8月)

Optimal Remote Web
Web画面共有・遠隔操作サービス

サービス
提供開始

5/26メディア・パートナー向け
新サービス発表会にて発表

今後も次々に、
新サービス投入予定…



Optimal Biz
2020-2021年版
エンドポイント管理市場のマーケティング分析

テクノ・システム・リサーチの
調査レポートにおいて、「Optimal Biz」が
19部門※1中12の部門でシェアNo.1※2を獲得



2020年モバイル管理市場
No.1を獲得

※1 出典：「2020-2021年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」の「II.市場動向編」、「2.モバイル管理市場」において、発刊元のテクノ・システム・リサーチにより発表された項目のうち、数値や結果として発表されているものを部門としてOptiMが定義し、集計した総数
※2 出典：テクノ・システム・リサーチ2021年3月発行、「2020-2021年版 エンドポイント管理市場のマーケティング分析」の「II.市場動向編」、「2.モバイル管理市場」より



学校向けMDMとして 8年連続
シェアNo.1※3

※3 出典：ミック経済研究所「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2020年度版」



テレワーク支援サービス「Optimal Biz Telework」、
バージョンアップを実施

緊急事態宣言延長・まん延防止等重点措置対象地域拡大に伴い、
感染予防対策としてのテレワーク実施率向上を支援するため、
無償提供を再度実施

DX戦略の更なる強化を目指しKDDIと合併会社を設立

5G・AI時代を見据えMDM（法人向けモバイルセキュリティサービス）分野の戦略的拡販、Corporate DXの強化、Industrial DXの拡大を目的とした新会社を設立



第4次産業革命の中心的企业になる

経営理念

世界の人々に大きく良い影響を与える普遍的なテクノロジー・サービス・ビジネスモデルを創り出すことを目的として事業に取り組む。

また、存続を目的とせず、たえず身の丈に合わない大きな志を持ち、楽しみながら挑戦する。


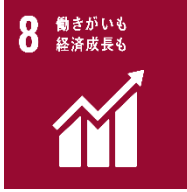


社内外を問わず、あらゆる属性を意識せず、互いが互いの立場を思いやり人間力の向上をおこなう。

オプティムでは、企業のその存在理由そのものが、多くの人々への貢献にあると考えており、その一環として環境や社会問題への取り組みを積極的に行っております。

利益創出は、その貢献を永続化させる、あるいは、イノベーションへの投資によって、その貢献を最大化、効率化させるために必要なものであると位置づけています。

また、ダイバーシティや地域社会との関係性も重視し、創業来上記の経営理念を推進しております。また、ガバナンスの強化を通して、透明性の確保による、企業不祥事、不正の防止、OPTiMのスタッフ個々人のやりがいある職場環境、豊かな人生の実現を図ってまいります。国連で採択されたSDGs(Sustainable Development Goals)についても、事業活動を通じて目標達成に貢献してまいります。

関連するSDGs	当社の活動
Environment (環境)	
	<p>テーマ：生物多様性の確保と環境負荷軽減 ピンポイント農薬・肥料散布により化学農薬、肥料を最大99%削減</p> <p>オプティムが特許を保有する「ピンポイント農薬・肥料散布テクノロジー」は、ドローンと画像解析技術を用いた精密農業を行うことができる。必要な箇所のみ農薬、肥料を散布することで、土壌環境への負荷を軽減すると同時にコストも削減することができる。また、減農薬栽培や作物の収量安定を実現。本取り組みは、農林水産省が策定する「みどりの食料システム戦略」でも紹介されている。また、具体的取り組みとして「ドローンによるピンポイント農薬・肥料散布の普及」が明記されている。</p>
	<p>テーマ：気候変動対策の推進 デジタル技術を用いた気候変動（温暖化）に対応可能な栽培技術体系の確立</p> <p>気象・水位・栽培歴・病害虫・生育データをデジタル化することで、環境・生育状況に応じた栽培手法をレコメンドするシステムを開発。また、AIを用いた病害予察技術の高度化を実施。気候変動に伴う、作物の高温障害や病害の北上等の課題への対策を可能とすることで、持続的な栽培を可能とする。</p>
	<p>テーマ：2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現の推進 ドローンを活用した資源量調査サービス「ForestScope」の提供</p> <p>ForestScopeは、ドローンを活用して森林を空撮し、画像解析により樹木本数や材積量を推定することができる。森林資源量の調査を簡便に行うことができ、資源量の調査工数の削減を行うことができる。森林保全を行うには資源量調査が有効なデータとなり、保全のための間伐や資源循環利用、カーボンニュートラルに向けた、計画的な森林マネジメントに貢献することができる。</p>

関連するSDGs	当社の活動
Social (社会)	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育をみんなに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも経済成長も</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> </div> </div>	<p>テーマ：地域社会の労働力不足解消、新たな働き方提案 多様な働き方を支援するサービス群（Optimal Biz、Optimal Biz Telework、Optimal Remote、Optimal Second Sight）の提供</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い緊急事態宣言が発令され、多くの企業がテレワーク（在宅勤務）へと勤務形態を移行。また、物理的な場所や時間を意識しない仕事のやり方も求められている。このような社会状況に応えるべく、多様な働き方を実現する複数のサービスが提供されている。</p>
<div style="text-align: center;">  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div>	<p>テーマ：地域間医療格差の解消と高度な医療の提供 患者、医療機関の双方においてメリットがある「オンライン診療サービス」を実現</p> <p>地域ごとの医療格差、仕事や育児、身体的事情などでの来院機会損失の課題に対して、スマホやタブレットで遠隔診療を行うことで継続的に受診でき、予防医療にも繋がり生活習慣病有病者や介護者を減らすことが可能。また医師にとっては、往診における時間的・経済的負担も軽減。</p>
Governance (企業統治)	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>16 平和と公正をすべての人に</p> </div> </div>	<p>テーマ：企業価値、株主価値向上を目指して 各分野有識者からなる「経営諮問委員会」の設置</p> <p>現在オプティムが取り組んでいる農業・建設・医療の各分野における第一人者の方々を委員（エグゼクティブアドバイザー）として招聘。経験に裏打ちされた知見を基にした各産業分野への関与のみならず、企業価値の最大化を図るためのコーポレートガバナンス強化観点に対しても貴重なアドバイスをいただき、経営の透明性・健全性確保を図っている。</p>

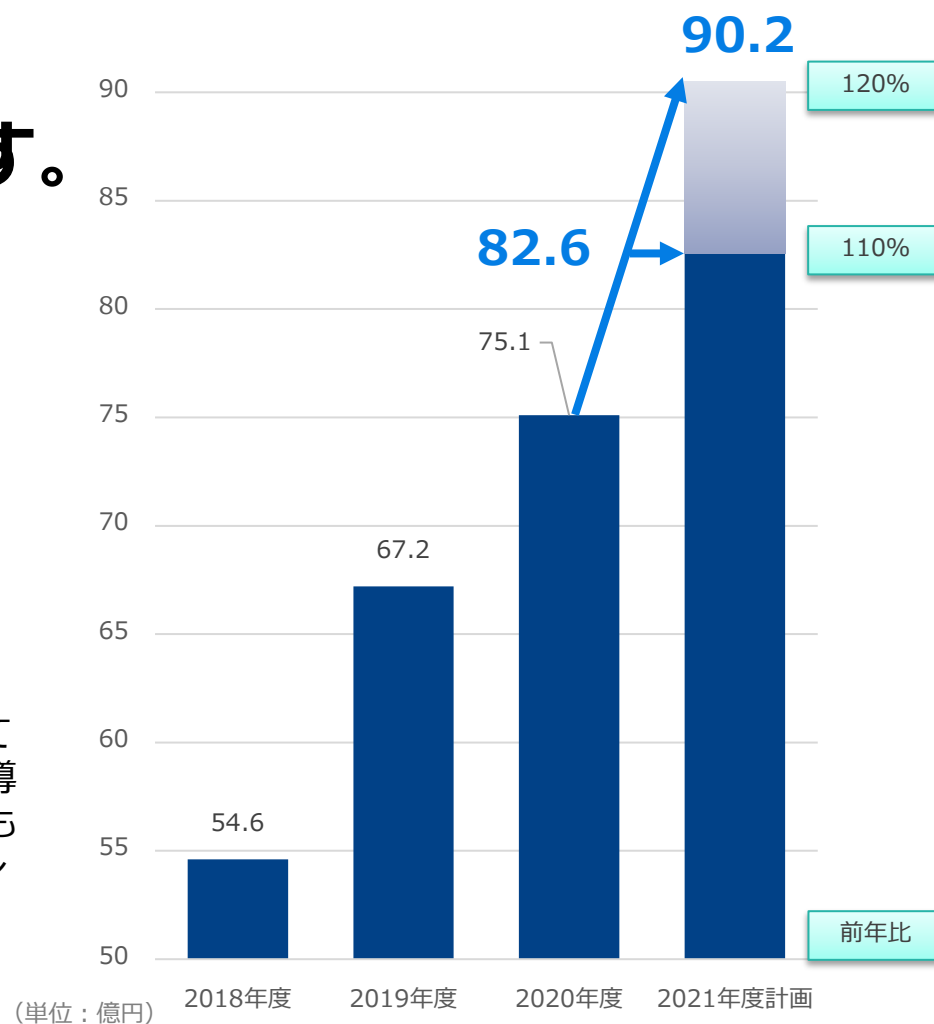
2022年3月期 通期業績見通し

創業来**22期連続**となる
過去**最高売上高**を目指します。

90.2億円～82.6億円
(前年比110%～120%)
の範囲で計画

売上については、既存サービスに加え、「Industrial DX」「Corporate DX」という新たなサービスの売上を見込むことで、前年比120%程度の成長率を確保できるものと考えておりますが、コロナウイルスの影響により、新規ビジネス導入の際のカスタマイズ案件の進捗が滞った場合は、売上にも影響が及ぶと考えており、前年比120%～110%成長のレンジ形式での予想開示を採用いたします。

売上予想



2018年度は単体決算でしたが、参考値として連結実績との比較を行っております。

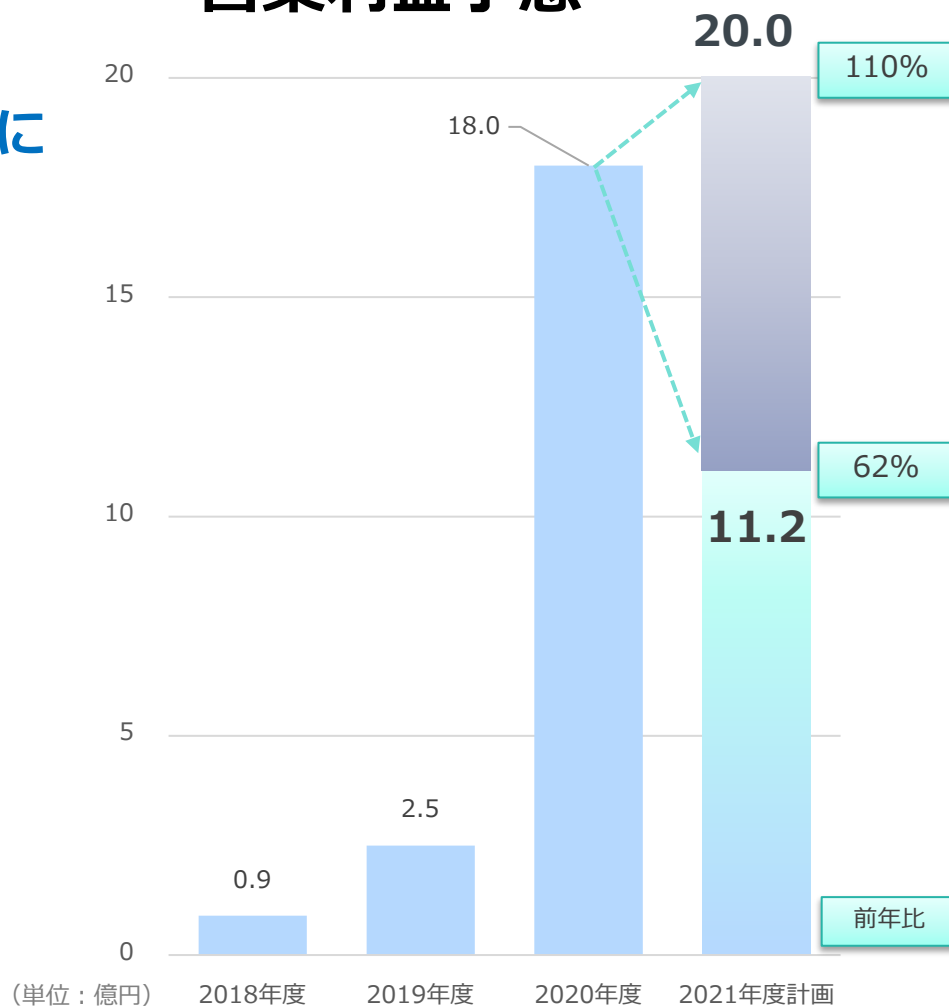
第4次産業革命の中心的企业になるために
利益を確保しながらも
積極的な成長投資を継続いたします。

営業利益20.0億円～11.2億円
(営業利益率22%～13%)
(前年比110%～62%)
の範囲で計画

営業利益については、積極的な成長投資を行う事を前提とし、「Industrial DX」「Corporate DX」の取り組みを進め、OxITの更なる推進や新たな市場開拓を積極的に行ってまいりますので、営業利益率は、20%程度となる見込みです。

一方で、現時点で予測がしづらいコロナ禍における、売上計画に影響が発生した場合などにおいても、積極的な成長投資を行っていく計画としております。これらを考慮し売上と同様にレンジ形式での予想開示を採用いたします。

営業利益予想



2018年度は単体決算でしたが、参考値として連結実績との比較を行っております。

第4次産業革命の中心的な企業になるために、
積極的な成長投資を実施いたします。

売上については、
創業来**22期連続**となる過去**最高売上高**を目指します。

利益については、
積極的な成長投資を実施しつつ
13%～22%の営業利益率を目指します。



Appendix

固定翼型ドローンを用いて作物の生育情報を広範囲で取得し、 きめ細やかな栽培指導を実現する実証実験を実施

圃場ごとに最適な栽培指導を実現、農作物の収量・品質の向上に寄与



- 実施内容：固定翼型ドローンによる農地の空撮
- 離発着場所：石川県能美市上清水町の手取川右岸河川敷
- 飛行経路：能美市上清水町の手取川右岸河川敷より離陸し、能美市上清水町・秋常町・新保町周辺の農地を数往復して撮影。撮影後は同離発着場所まで戻り着陸

ハウス栽培のスマート化実証実験を開始

- 参画企業：株式会社クボタ、inaho株式会社、株式会社オプティム、株式会社ルートレック・ネットワークス、株式会社レグミン、株式会社関東甲信クボタ
- 参画企業各社が保有するロボットやAI等を活用した自動化ソリューションを持ち寄ることで、灌水（水やり）、施肥、防除（病害虫の予防・駆除）、収穫といった各栽培工程で収集するデータを相互利活用できる実証環境を構築し、新たなソリューションの開発を目指します。



2021.6.17, 2021.07.19プレスリリース

あらゆる遠隔医療ビジネスに活用可能な「オンライン診療プラットフォーム」、バージョンアップを実施

ビデオ通話機能の拡充および、Apple Watch測定の中酸素濃度を参照可能に

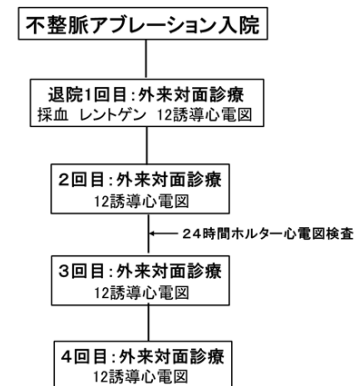


- 新機能1： 医師/相談員/指導者の画面共有機能
- 新機能2： Apple Watchの酸素濃度測定機能連携

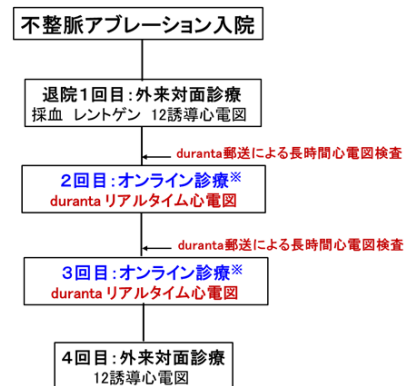
オンライン診療にとどまらず、在宅医療や、保健指導、健診、人間ドック、検査機関など、さまざまな医療サービスにおいてオンライン診療サービス提供を開始することが可能となります。

「オンライン診療ポケットドクター」とウェアラブル心電計「duranta」を用いた新しい診療形態の共同研究を、神戸大学にて開始

不整脈カテーテルアブレーション後の一般的な外来診療の流れ



duranta郵送とオンライン診療を活用したアブレーション後の外来診療の流れ

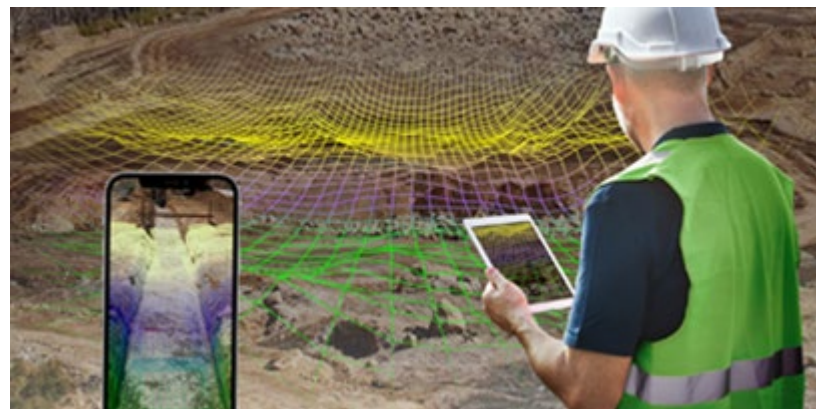
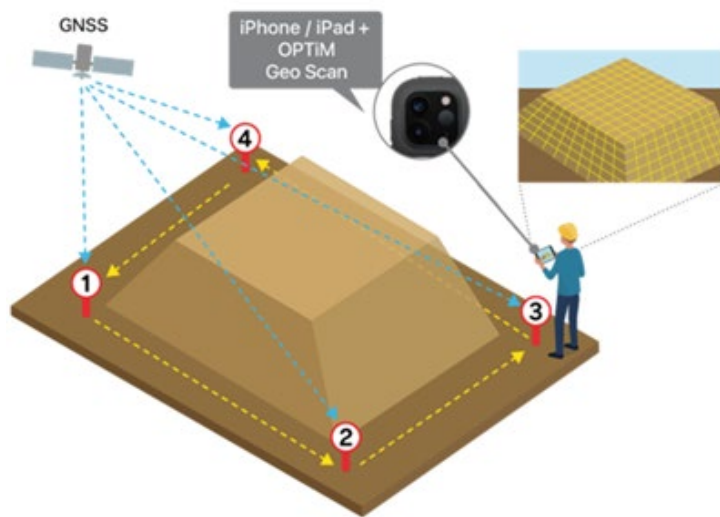


※ 不整脈の状態が安定しており、医師が非対面の診療が可能と判断し、本人より研究参加に同意が得られた患者に対して行う。

2021.06.03、2021.07.29プレスリリース

スマホ・タブレットで対象をスキャンするだけ かんたんLiDAR3次元測量アプリ「OPTiM Geo Scan」

～新サービスとして発表&サービス提供開始～

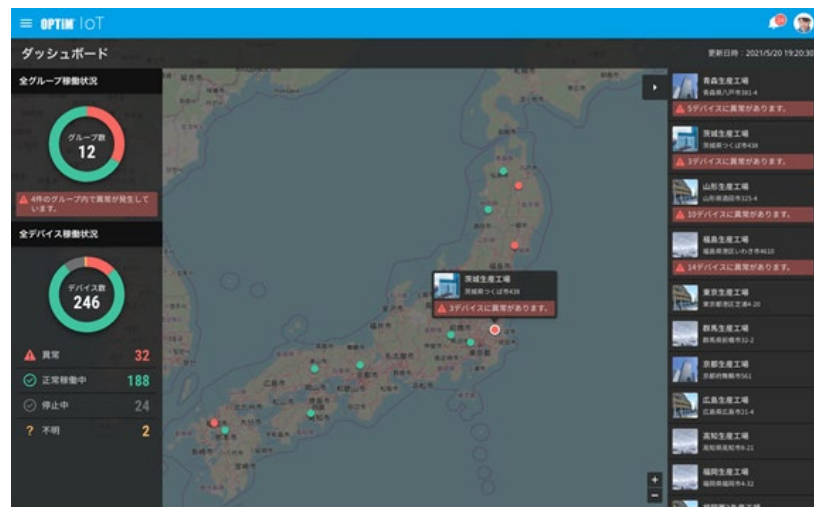
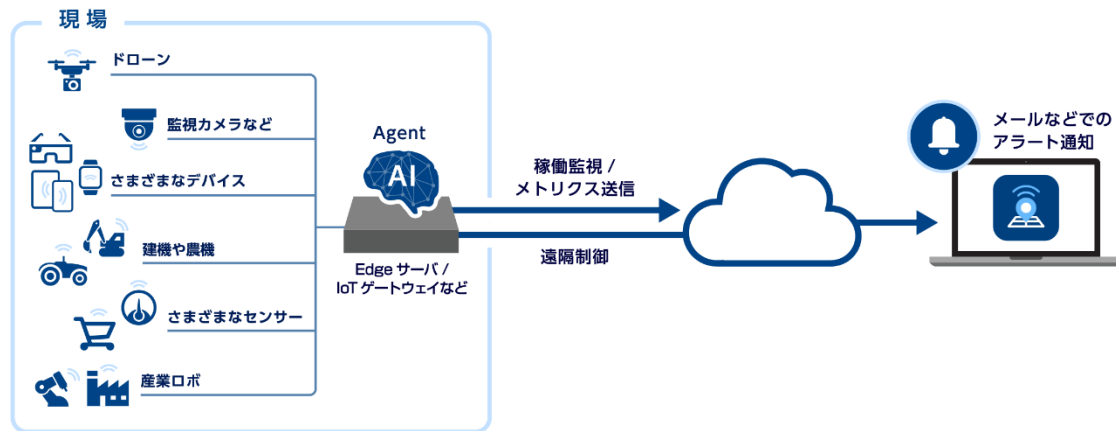


1現場あたり月額27,000円※1から提供、既存の3D測量（ドローン、レーザースキャナ等）に比べ80%以上のコスト削減※2を実現測量時間の短縮や人件費の削減、技術者不足問題を解決

※1 年間契約プランにおける1現場あたり月額換算価格（税抜き）
※2 800mの現場を想定、オプティムが実施した調査結果に基づき、計算した結果

IoTで機器・装置の力を最大化、 クラウド機器管理サービス「OPTiM IoT」

～新サービスとして発表（サービス提供開始予定8月）～



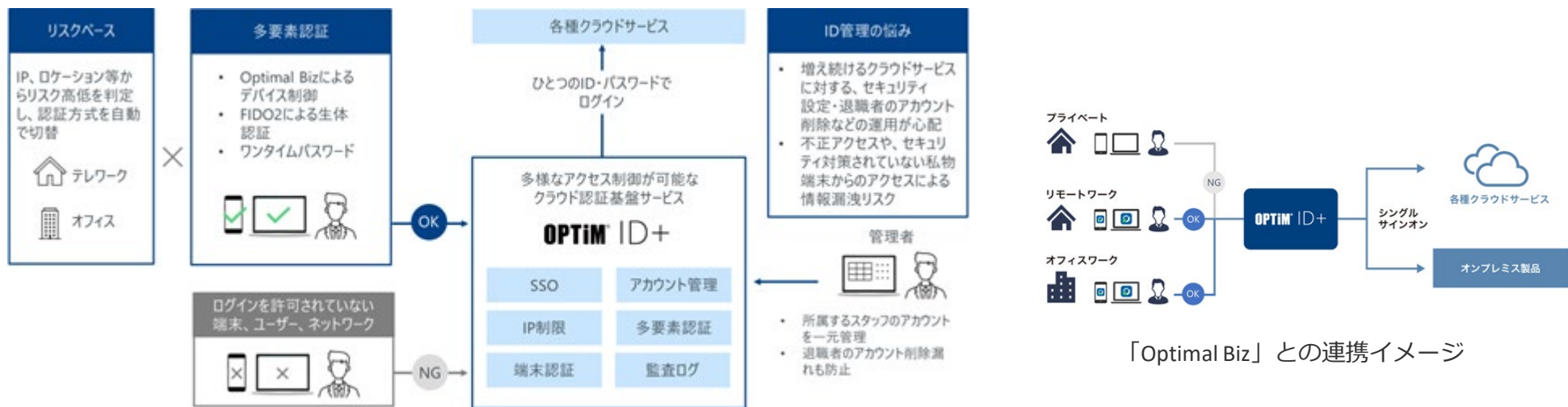
「OPTiM IoT」の特長

- 稼働状況を可視化して、機器の稼働を最適化、保守コストを削減
- トラブルの早期復旧、予防予知によるダウンタイム最小化
- クラウドによる簡単導入と高度なセキュリティ対策

クラウド認証基盤サービス「OPTiM ID+」

～新サービスとして発表（サービス提供開始予定8月）～

クラウドサービスのログイン情報を一元化し、IDセキュリティを強化
国内市場シェアNo.1 MDMサービス「Optimal Biz」など、オプティムのあらゆるサービスとも連携



「Optimal Biz」との連携イメージ

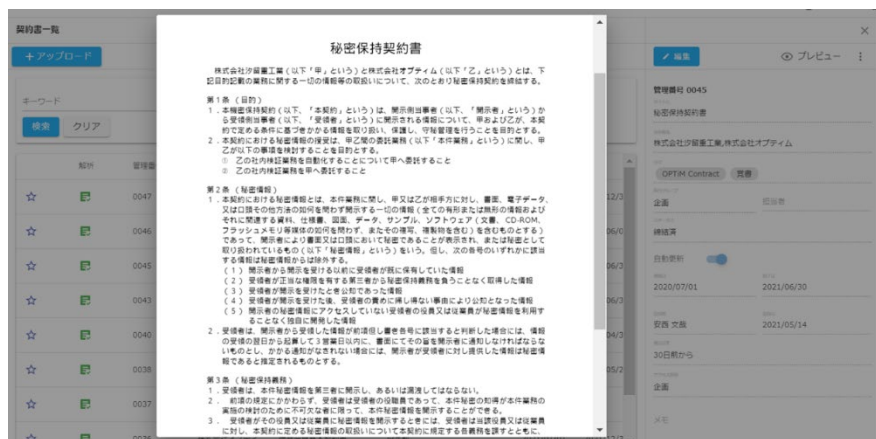
「OPTiM ID+」の特長

- MDMサービスによるデバイス認証を搭載
 - 国内市場シェアNo.1のMDMサービス「Optimal Biz」によるデバイス認証機能を搭載し、MDMサービス「Optimal Biz」によって管理され、セキュリティの担保された端末からのみクラウドサービスへのログインを許可することができます。

AIで契約書の管理コスト・リスクを削減する 「OPTiM Contract」

～新サービスとして発表&サービス提供開始～

保有特許を用いて開発。セキュリティも万全、すぐ始められるクラウドサービス



「OPTiM Contract」の特長

- AIが契約書を解析し、自動で情報を抽出&入力。手入力による記入作業を効率化
- クラウドで一元管理したセキュアなデータベースを検索し、すぐに目的の契約書へアクセス可能
- 契約の更新期日が近づくと自動で通知、更新漏れを防止
- クラウドによる簡単導入と高度なセキュリティ対策

2021.05.19プレスリリース

マーケティングDXサービス 「OPTiM Digital Marketing」 ～新サービスとして発表&サービス提供開始～

クラウドCRMサービス提供のユラス社に対するM&Aを実施
顧客との接点強化、アフターケアの自動化まで、ワンパッケージで提供

01 キャンペーンマネジメント

顧客満足度を高め、収益の拡大に貢献
顧客の嗜好や属性に合った多様なコンテンツを、最適なタイミングで配信し、リアルタイムに効果分析をします。

- 顧客セグメントに応じたメディア配信
- イベント・アンケート・クーポンなどの運用支援
- マネージメントの効果測定

02 実店舗・サイトへの送客

マルチテナント/ECサイトでの運用・構築を支援
実店舗/ECサイトのどちらのデータ管理にも対応。様々な組織・業種形態を想定したマルチテナント方式で安定運用します。

- 様々な企業の組織構造に応じたマルチテナント方式
- ECサイトの構築・運用支援

03 顧客管理

顧客満足度を高め、収益の拡大に貢献
会員データを一元管理し、データに基づいた分析から顧客満足度を高めることで収益の拡大に貢献します。

- 購買履歴・行動履歴から会員の属性を算出
- 算出された属性から自動分析
- 顧客のロイヤリティ管理



「OPTiM Digital Marketing」の特長

- 顧客の嗜好や属性に合ったコンテンツを最適なタイミングで配信し、集客や購入を促進
- WebサイトやECサイトの構築を支援し、顧客との接点強化やオンライン販売へ対応
- 顧客のデータを一元管理し、多角的に分析する事で、販促施策の強化へ貢献

2021.05.20プレスリリース

リモートコントロール市場シェアNo.1※1 の実績に基づいた遠隔操作サービス 「Optimal Remote IoT」 ～新サービスとして発表（サービス提供開始予定8月）～



「Optimal Remote IoT」の特長

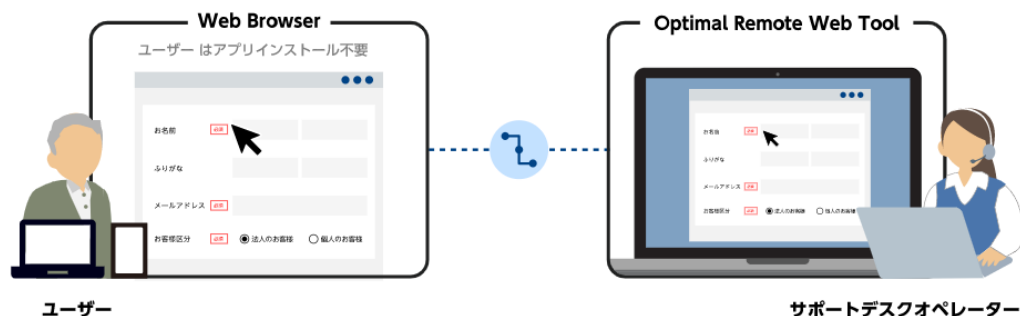
- 簡単導入・簡単設定
- 利便性の高い機能実装
- 高セキュリティで安心・安全に利用
- 他サービス連携によるデバイス運用・保守の高度化と高いセキュリティの実現

※1 出典：ITR 2020年8月発刊、「ITR Market View：ユニファイド・エンドポイント管理市場2020」、「第7章 国内リモートデスクトップ/リモートコントロール市場動向」、「7-4-3 リモートコントロール市場」より

2021.05.17プレスリリース

ユーザーアプリが不要に、 セキュアにWeb画面をリアルタイム共有、 「Optimal Remote Web」 ～新サービスとして発表&サービス提供開始～

国内シェアNo.1※1画面共有・遠隔操作サービス「Optimal Remote」、アプリレスの新サービスリリース



「Optimal Remote Web」の特長

- ユーザー環境でアプリのインストールが不要（エージェントレス）
- 機密情報のマスキングによってユーザーのセキュリティを担保
- 画面共有・遠隔操作サービス「Optimal Remote」との併用が可能

※1 出典：ITR 2020年8月発刊、「ITR Market View：ユニファイド・エンドポイント管理市場2020」、「第7章 国内リモートデスクトップ/リモートコントロール市場動向」、「7-4-3 リモートコントロール市場」より

2021.05.13プレスリリース